

平成30年第2回
組合議会定例会議事録

招集日 平成30年5月21日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

平成30年第2回 組合議会定例会議事録

招集日 平成30年5月21日(月)

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1. 出席議員(10名)

1番 丸田 絵美

2番 鈴木 宗貴

3番 橘 正俊

4番 渡辺 進二郎

5番 川畑 英樹

6番 粕谷 稔

7番 高谷 真一朗

8番 嶋崎 英治

9番 吉野 和之

10番 森 徹

2. 欠席議員(0名)

3. 出席説明員

管 理 者	清 原 慶 子	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	内 田 治	参 与	伊 藤 栄 敏
総 務 主 幹	大 野 憲 一	総 務 主 幹	岩 本 宏 樹
清 掃 主 幹	岩 崎 好 高	清 掃 主 幹	丸 山 義 治
人 事 主 幹	近 藤 さやか	文 書 主 幹	一 條 義 治
財 務 主 幹	石 坂 和 也	契 約 ・ 検 査 主 幹	富 永 幹 雄
会 計 管 理 者 ・ 出 納 主 幹	大 朝 撰 子	監 事 務 局 査 長	荒 川 浩 一
事 務 局 長	荻 原 正 樹	事 務 局 次 長	上 野 洋 樹
総 務 課 長	宮 崎 治	施 設 課 長	岡 田 賢 一 郎
施 設 課 長 補 佐	星 野 巖 雄		

午前9時56分開会

○議長（鈴木宗貴君） それでは、開会時間前ですが、皆様おそろいということで始めさせていただきます。

○議長（鈴木宗貴君） これより平成30年第2回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会期の決定

○議長（鈴木宗貴君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日1日といたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（鈴木宗貴君） 続きまして、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、1番丸田絵美議員、及び8番嶋崎英治議員を指名いたします。

日程第3 管理者報告

○議長（鈴木宗貴君） 日程第3、管理者報告に入ります。

それでは、清原管理者、お願いいたします。

清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 皆様、おはようございます。

新緑のさわやかな季節の今日このごろでございますが、議員の皆様におかれましては、両市の定例議会を控え、何かとお忙しい時期に、平成30年第2回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、恐縮に存じております。

それでは、早速、管理者報告に入らせていただきます。本日も報告申し上げます。5件でございます。

ご報告の第1件目は、ふじみ衛生組合人事についてでございます。お手元の参考資料をごらんください。

三鷹市及び調布市の3月31日付及び4月1日付人事異動に伴いまして、組合におきましても人事異動を発令いたしましたので、ご報告させていただきます。

初めに、兼職職員の人事異動でございます。三鷹市生活環境部ごみ対策課長の岩崎好高さん、そして、調布市環境部ごみ対策課長の丸山義治さんを組合の清掃主幹に、三鷹市総務部職員課長の近藤さやかさんを人事主幹に、三鷹市会計管理者の大朝摂子さんを会計管理者・出納主幹に、それぞれ併任いたしました。

次に、事務局職員でございます。皆様、お手元、参考資料2をごらんください。事務局長に、事務局次長の荻原正樹さん、その後任として、調布市から上野洋樹さんを事務局次長とする、人事を発令いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

ご報告の第2件目は、ごみ処理実績についてでございます。

なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告をさせていただきますので、ご了承をお願い申し上げます。

初めに、資料1をごらんください。クリーンプラザふじみの平成30年1月から3月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は1万6,820トンでございます。前年度と比較いたしますと、789トン、4.9%の増となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が6,472トンで構成比45.2%、前年度比61トン、1.0%の増、調布市が7,833トンで構成比54.8%、前年度比79トン、1.0%の増となっております。また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては、1,588トンで、前年度比277トン、14.9%の減となっております。そのほか、小金井市の広域支援では927トンを受け入れました。

一方、この3カ月間で1万9,560トンを焼却処理いたしまして、焼却灰等2,363トンを搬出いたしました。

続きまして、資料2をごらんください。クリーンプラザふじみの平成29年4月から平成30年3月までの1年間の処理実績でございます。この1年間の総搬入量は7万2,117トンでございます。前年度と比較いたしますと3,361トン、4.9%の増となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が2万8,243トンで構成比45.6%、前年度比167トン、0.6%の増、調布市が3万3,659トンで構成比54.4%、前年度比

461トン、1.4%の増となっています。また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては7,145トンで、前年度比337トン、4.5%の減となっています。そのほか、小金井市の広域支援では3,070トンを受け入れました。

また、この1年間の焼却処理量は7万699トンで、前年度比2,487トンの増となりました。これに伴いまして、焼却灰等の搬出は8,117トン、前年度比232トン、2.9%の増となりました。

次に、資料3をごらんください。リサイクルセンターの平成30年1月から3月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は4,421トンでございまして、前年度と比較いたしますと3トン、0.1%の増となっています。

その内訳といたしましては、三鷹市が2,188トンで構成比49.5%、前年度比30トン、1.3%の減、調布市が2,233トンで構成比50.5%、前年度比33トン、1.5%の増となっています。

続きまして、資料4をごらんください。リサイクルセンターの平成29年4月から平成30年3月までの1年間の処理実績でございます。この1年間の総搬入量は1万7,946トンでございまして、前年度と比較いたしますと209トン、1.1%の減となっています。

その内訳といたしましては、三鷹市が8,967トンで構成比50.0%、前年度比195トン、2.1%の減、調布市が8,979トンで構成比50.0%、前年度比14トン、0.2%の減となっています。

ご報告の第3件目は、視察・見学の状況についてでございます。資料6をごらんください。クリーンプラザふじみの平成29年度1年間の視察・見学者数でございます。この1年間の総見学者数は121団体、6,541人でございました。前年度と比べまして25団体、390人の減となりましたが、表の欄外にありますように、これまでの国際貢献の取り組みの経過もあり、アジア諸国を中心に22カ国から多数の見学者が来訪されました。今後も、両市の児童生徒及び市民の皆様に向けた環境学習・啓発活動に取り組むとともに、引き続き国際貢献にも努めてまいります。

ご報告の第4件目は、地元協議会等についてでございます。地元協議会につきましては、5月7日に第54回の会議を開催いたしました。小金井市の西岡市長がお見えになり、地元協議会の皆様に、この1年間の広域支援に対する感謝と、今後も引き続き広域支援をお願いしたいとの依頼がございました。西岡市長のご挨拶に対して、地元協議会の佐々木会

長より答礼のご挨拶をいただき、私からも引き続き、新年度を迎えてご挨拶をさせていただきました。

その後、施設運転についての報告を行い、意見交換をしていただき、平成30年度の会議スケジュール及び協議会の進め方を確認していただきました。次回の会議は7月23日に開催を予定しており、6月18日に施設見学会を実施することとしています。

安全衛生専門委員会につきましては、4月23日に第18回の会議を開催し、地元協議会と同様の報告を行いました。次回は10月16日に開催を予定しています。

ご報告の5件目は、水銀対策についてでございます。資料7をごらんください。去る2月27日、1号炉の排ガス中の水銀濃度が自主規制値を上回り、焼却炉の稼働を停止いたしました。これまで、水銀問題は年度の切りかえ時期に集中する傾向がありましたので、搬入物検査など十分に注意を払うとともに、新たな水銀除去システムの実証実験を行ってまいりましたが、再発を防ぐことができませんでした。

とはいえ、新たな水銀除去システムは、今までの方式と比べて水銀除去能力がすぐれており、水銀濃度の下がり方が早く、再稼働までの日数が短縮できるとともに、今回、初めてバグフィルター前での水銀濃度を測定することができましたことから、今後の水銀対策についての手ごかりを得られるという成果もございました。

また、安全衛生専門委員会の藤吉委員長から、「バグフィルター前の水銀濃度が下がっているのに煙突の水銀濃度が下がらないのは、バグフィルターで除去し切れなかった水銀が煙突の水銀分析計に付着し、測定値が上振れしてしまうメモリー効果の可能性があるので」とのご指摘をいただきました。

そこで、藤吉委員長からいただいた課題への対応を図るとともに、水銀除去システムの性能向上に向けた検討を、JFEエンジニアリング株式会社と協働して行うなど、市民の皆様が安心していただける安全な施設づくりに取り組んでまいります。

本年4月1日から改正大気汚染防止法が施行され、国においてもふじみ衛生組合同様の排出基準が設けられました。今後も三鷹市、調布市と連携して、水銀含有廃棄物の搬入防止対策に引き続き取り組んでまいります。

私からの報告は以上でございます。

なお、課長職以下の人事異動及びごみ処理実績につきましては事務局長から補足いたしますので、よろしくお願いたします。

○議長（鈴木宗貴君） 萩原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。私からは、管理者報告につきまして、2件の補足をさせていただきます。

第1件目は、事務局職員の人事異動についてでございます。お手元の参考資料2をごらんください。

初めに、派遣者に関する人事異動についてでございます。

施設課長補佐の小垣外孝さん、総務課総務係長の田中賢治さんが、それぞれ派遣を解かれ調布市に戻りましたので、後任として、調布市から施設課に星野巖雄施設課長補佐、総務課に志賀敏之総務係長がそれぞれ就任いたしました。

また、総務課及び三鷹市監査事務局を併任されていた熊沢竹美主任が併任を解かれ三鷹市に戻りましたので、その後任として、三鷹市から総務課及び三鷹市監査事務局主任として小栗由紀子さんが併任をされました。また、施設課主事として、三鷹市から高橋悠紀さんが就任いたしました。

次に、再任用職員についてでございます。資料裏面をごらんください。

総務課の大堀和彦主任、施設課の畑山健治主任の再任用期間を更新するとともに、新たに調布市から総務課主任に篁健二さん、三鷹市から施設課主事に倉橋亨実さんをそれぞれ再任用いたしました。

組合職員の人事異動の報告につきましては以上のとおりでございます。

第2件目は、ごみ処理実績についてでございます。管理者報告同様、重量につきましては小数点以下を四捨五入してご報告させていただきます。

資料1をごらんください。クリーンプラザふじみの平成30年1月から3月までの3カ月間の処理実績でございます。搬入実績につきましては、広域支援による小金井市のごみの受け入れがあり、前年同期と比較いたしまして総量で4.9%の増となりました。

その内訳ですが、委託収集、いわゆる家庭系ごみにつきましては、汚れたプラスチックの分別区分の変更によりまして、三鷹市が1.3%の増となりました。また、持ち込みに区分される事業系ごみにつきましては、調布市が2.8%の増となりました。調布市の事業系ごみの増加は、クリーンプラザふじみが稼働して以降、この傾向が変わらず続いています。

搬出実績につきましては、前年同期と比較いたしまして31トン、1.3%の増となりました。これは、焼却量が前年同期と比べ138トン減少いたしましたが、灰ピットからの搬出時期によるものと捉えています。

続きまして、資料2をごらんください。クリーンプラザふじみの平成29年4月から平成30年3月までの1年間の状況でございます。

搬入実績につきましては、先ほどと同様に、広域支援による小金井市のごみの受け入れがあり、総量で3,361トン、4.9%の増となっています。その内訳ですが、持ち込みごみにつきましては、三鷹市が1.7%の減、調布市が5.5%の増となり、この数年間、同じ傾向が続いています。その要因は、繰り返しのご説明で恐縮ですが、手数料の額などが影響するとともに、調布市の事業者に、ふじみ衛生組合に持ち込めることが周知されてきたためではないかと考えているところでございます。

なお、リサイクルセンターでの可燃性残渣の減少につきましては、不燃ごみの減少とともに、三鷹市における汚れたプラスチックの分別区分の変更によるものでございます。

次に、資料3をごらんください。リサイクルセンターの平成30年1月から3月までの3カ月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、総量で0.1%の増となりました。その内訳ですが、分別区分の変更によりまして、三鷹市のプラスチックが前年同期に比べ49トン、5.0%の減となりました。また、ペットボトルは、三鷹市が10.6%の増、調布市が11.5%の増と両市とも増加いたしました。

搬出実績につきましては、まず、左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は前年同期と比べ132トン、5.6%の増となっています。この主な要因でございますが、搬出時期の関係から、14番の容リ・プラスチックが大きく増加いたしました。また、ペットボトルにつきましては、全てを容器包装リサイクル協会ルートといたしましたので、6番の減と15番の増が相殺される関係になっています。その他の品目では、ほぼ前年同期と同量という結果になっています。

右側の逆有償の資源物搬出の欄をごらんください。水銀を含む有害廃棄物である廃乾電池及び廃蛍光管につきましては、それぞれ減となりました。処理困難物につきましては、廃消火器等を搬出したものでございます。また、リサイクルセンターの可燃性残渣につきましては、1,588トンで、前年同期比277トン、14.9%の減となり、全量をクリーンプラザふじみにおいて焼却処理し、熱回収いたしました。

続きまして、資料4をごらんください。リサイクルセンターの平成29年4月から平成30年3月までの1年間の状況でございます。搬入実績につきましては、微減傾向が続いています。前年度と比較いたしまして、施設の稼働日数が258日ということで1日減り

ましたので、総量では1.1%の減少となりました。

その内訳ですが、昨年4月からの分別区分の変更によりまして、三鷹市のプラスチックが前年度に比べ264トン、6.8%の減となりました。不燃ごみにつきましては、三鷹市、調布市ともに減少傾向が続いています。ペットボトルにつきましては、ともに増加となっています。温暖化の影響とともに、飲料容器におけるペットボトルのシェアが拡大しているものと考えています。

搬出実績につきましては、まず、左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は前年度に比べ53トン、0.6%の減となっています。搬入量が減少するとともに、稼働日数が1日短かったことによるものでございます。

その内訳ですが、種別ごとの増減はそれぞれありますが、14番の容リ・プラスチックが159トンの減、16番の小型家電製品が99トンの増となっています。また、ペットボトルの6番の減と15番の増につきましては、先ほどと同様、相殺される関係になっています。その他の品目では、ほぼ前年度と同量という結果になっています。

右側の逆有償の資源物搬出の欄をごらんください。水銀を含む有害廃棄物ですが、廃乾電池及び廃蛍光管につきましては、それぞれ減となりました。処理困難物につきましては、前年度比3トン、28.3%の減となりましたが、搬出時期によるものでございます。また、リサイクルセンターの可燃性残渣につきましては7,145トン、前年度比337トン、4.5%の減となり、全量をクリーンプラザふじみにおいて焼却処理し、熱回収いたしました。

続きまして、有価物品等の価格の推移でございます。資料5をごらんください。平成30年第1回定例会以降の状況についてご説明申し上げます。鉄、アルミ及び小型家電製品につきましては、本年4月以降の売却単価の入札を実施いたしました。その結果、鉄類は単価が上昇いたしました。アルミ類は特アルミ、これはアルミ缶でございますが、これは上昇いたしました。アルミは下落となりました。また、小型家電製品につきましても、1,000円、50%の下落となりました。鉄類に関しましては、昨年10月期から3期続けて単価が上昇いたしました。しかしながら、海外市場で鉄が値下がりし、国内電炉メーカーでの炉前価格が下がっているとの情報に接しています。まだまだ予断を許さない厳しい状況でございます。今後も、できる限り有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

私からの報告は以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 管理者からの報告は以上でございます。

ただいまの管理者報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。

嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） 嶋崎です。よろしく願いいたします。

資料7、1号炉の稼働停止に関連してなんですが、直近で受けて以降、事務局からないので、日々皆さんも緊張の中にあっただろうなと思ひまして、ほんとうにお疲れさまでございます。ほっとしているところですが、搬入された状況でいろいろキャッチするのは私も当然だと思うんですが、さきの議会で、ピット投入以前に、水銀を含むプラスチック等が摘出される収集方法の検討を求めて、議案に賛成討論をいたしました。その後のピット投入前の除去方法について、検討の進捗状況をご報告いただきたいと思います。

以上です。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） ピット投入以前の状況でございますけれども、今現在、年に30回ごみの検査を実施しております。それで、以前は事業系ごみの搬入検査をやっていたんですが、事業系ごみだけではなかなか水銀が見つからないということもございまして、現在は一般の家庭系ごみ等も含めまして幅広く搬入物の検査を行っているところでございます。しかしながら、今現在、これと云って水銀について特定できる段階ではございません。

以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） ありがとうございます。そこでお伺いしたいんですが、事業系だけじゃなくて一般家庭ごみについても検査をされているということですが、その中で摘出された特徴的なものはあるのでしょうか。あるいは、全く摘出されたものがなかったということなんですか。そこを教えてください。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 水銀は出てまいりませんでしたけれども、入っているものとしては、金属類が結構入っています。例えば、クリーニング屋さんから戻ってくる時の金属製のハンガー、そういったものが入っていたり、たまに、瓶、缶が分別不十分で入っていたりということがございます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） ありがとうございます。ご案内のように、水銀は溶けてしまうということがありますよね。それが空気中に散失していくと、いろいろなものが出る、あるいは、水俣病のように水の中に行くと、いろんな害が出たということですから、引き続き、よりベターな除去方策、私もこういうことがあるよというふうに研究度合いが進めばいいんですけども、一緒に知恵を出し合いながらやっていきたいと思います。答弁、どうもありがとうございました。

○議長（鈴木宗貴君） ほかにございますか。

高谷議員。

○7番（高谷真一朗君） おはようございます。私も、資料7の水銀のことについてお聞きしたいんですが、まず、5番目の「新たな水銀除去システムの成果」というところなんですけれども、全体的に見まして、今までの水銀が出てしまったときよりも、ほんとうに立ち上がり及早かったなということで驚いておるところでございます。このシステムがより生かされてきたのかなというところを実感しておるところでございますが、報告にありました、今後の水銀対策の手がかりを得ることができたということ、もうちょっと具体的に教えていただきたいのと、あと、6番目にメモリー効果というものがあります。このメモリー効果があったということ、専門委員の先生からご指摘をされたということですが、例えば、付着したものを拭き取れば、また新たに稼働ができるようなものなのか、技術的のところを教えていただきたいと思います。

また、最後、7番目にあります、JFEエンジニアリングとの協働で機能向上に向けた検討をとあります。この件が発生してから3カ月が経過しておるわけでございますが、この間、JFEとの話し合いの中身、内容というものを教えていただきたいと思います。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、手がかりというものでございますけれども、今回、初めてバグフィルター前で水銀濃度ををはかることができまして、バグフィルター前の水銀濃度と排ガスの量から、混入された水銀量は300グラム以上と推定されたというのが手がかりでございます。具体的に申し上げますと、例えば、昔ながらの水銀の体温計ですと、1本当たり0.5グラムから0.75グラムぐらいでございます。乾電池につきましては、今、ほとんど入っていないような状況ですので、300グラムということは、少なくとも電池だとか体温計、そういった類いではないだろうなという手がかりができたということで、今後、搬入物検査に当たりまして、いろいろな視点からできるのではないかと考え

ています。

それから、2点目のメモリー効果でございますけれども、水銀そのものは気化いたしまして塩化水銀という形になりますので、目には見えないんですね。したがって、拭き取るとかいうことはできないんですけれども、今考えていますのは、万が一、このメモリー効果で水銀計に、ガス状の水銀が付着して、それが落ちないがために水銀濃度計が下がらないとすれば、上がった瞬間に、次の水銀計を用意しておいて、そちらに排ガスを流し込むということにすれば、新しい水銀計ですから水銀が付着していませんので、正しい水銀濃度ををはかることができるんじゃないかというような、研究開発を行っているところでございます。これにつきましては、新しい水銀計の確保、その設置場所、費用等々を含めまして、今、まさしくJFEエンジニアリングと調査、研究をしている段階でございます。

3番目の機能向上でございますけれども、これは今現在、バグフィルター前の水銀濃度に応じまして吹き込む活性炭の量を3段階に変えています。例えば、入り口のところを100としますと、30ぐらいまで上がったなら活性炭を何%吹き込みなさい、60ぐらいまで上がったなら何%吹き込みなさい、100%になったら、全量吹き込みなさいというような3段階になっています。その3段階のパーセンテージと実際の吹き込む量がこれでいいのかどうか、その辺をまさしく検討しておりまして、より良い方法が見つかれば切りかえていきたいと考えているところでございます。

○議長（鈴木宗貴君） 高谷議員。

○7番（高谷真一郎君） ご答弁ありがとうございます。この事故以降、さまざま対策を考えられているんだということがわかりました。例えば、代替の水銀計というものをやるとすると、またそこで費用等は発生してくるわけだと思うんですが、そういった試算とかというのはまだしてないんですか。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 試算についてはこれからでございます。まず、システムがどういったシステムになるのか、それが決まれば、そこで初めて試算ができますし、ふじみ衛生組合が購入するという形になるのか、それとも、共同開発という形で費用負担するのか等々も今後の課題と考えております。

○議長（鈴木宗貴君） 高谷委員。

○7番（高谷真一郎君） わかりました。これからのことだと思いますが、今、事務局長がおっしゃってくれた対策がとれば、相当な確率で水銀の濃度を下げる、出てしまっ

た場合は下げられると思いますので、時間がかかるかもしれませんが、なるべく早急に開発を進めていただきたいと思います。地元協議会でも、やはりこの水銀の問題は大変大きく捉えておるといことはもちろんご承知だと考えております。自主規制値が三鷹の場合は低いですから、それでも市民の方々の安全に対して責任を持っているということはおよくわかりますが、こういうことがないにこしたことはございませんので、今後とも細心の注意を払っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

以上です。

○議長（鈴木宗貴君） ほかにございますか。

丸田議員。

○1番（丸田絵美君） 細かいことになるかなとは思いますが、冒頭、清原管理者から、この水銀対策に関しては搬入防止策を講じるとおっしゃっていただき、もろもろ研究をされていると思うんです。ただ、一般市民の中では、どのぐらい、この水銀に対する危機感があるかという、やはり携わっていないと、あまり危機感を持っていないと思うんですね。昨年度、あちこちに視察に行かせていただいても、おもちゃの中に入っているボタン電池とか、あらゆるものに可能性があるかと学習してまいりました。先ほどの報告の中では、乾電池とか水銀灯からはあまり量はないのではないかとおっしゃられていましたけれども、やはり市民の一人一人に、水銀に関する意識を高めるような策も必要だとは思っているんで、また、LED化に伴い、水銀灯から家庭で変更、交換をするということも出てきますと、やはり市民にも一定の認識とか責任も持っていただきたいと思いますので、ぜひ広報ですとか、そういった活動にも力を注いでいただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。よろしくお願いいたします。

○議長（鈴木宗貴君） 清原管理者。

○管理者（清原慶子君） ご質問ありがとうございます。ご質問のとおりでございます。私達も理事者協議で正副管理者、また両市の担当部長、この問題につきまして、ふじみ衛生組合として、もちろん広報紙も出しておりますので、ホームページとあわせて啓発させていただくとともに、身近なごみ収集をしているのは三鷹市、調布市それぞれでございますので、それぞれの広報でありますとかホームページでありますとか、あるいは、それぞれのごみ減量等にかかわる市民の組織ですとか、そういうときに、この水銀をめぐる状況と市民の皆様のご努力をお願いすることについては、情報提供及び啓発をしていきたいと思っています。

先ほど、管理者報告でも申し上げましたように、今年の4月1日から大気汚染防止法が改正され、それが施行されているわけですが、法律というのが施行されたときに、第一義的に自治体はまさにそれを担うものとして認識を新たにしますが、一般の市民の皆様には、一体何がどうなったのかということについては、なかなか周知されないのが一般的でございます。私、先ごろも環境省の自治体との関係の方と協議をし、あわせて、ただいま東京都市長会の会長であります長友調布市長にもお願いをして、東京都市長会においても環境省から課長さん等に来ていただいて、環境省の取り組みについても、市長としても共有し合いましょうというご提案をしまして、ご了承を得たところです。

いずれにしても、ご指摘のとおりでございますので、身近な広報紙やホームページ等におきまして、引き続き、今まで以上に水銀除去についての皆様の具体的な取り組みのご提案をしていきたいと考えております。

○1番（丸田絵美君） ありがとうございます。

○議長（鈴木宗貴君） よろしいですか。ほかにもございますか。よろしいでしょうか。

以上で質疑を打ち切ります。

以上5件は、報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

日程第4 議案第4号 監査委員の選任について

○議長（鈴木宗貴君） 日程第4、議案第4号、監査委員の選任についてを議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（鈴木宗貴君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 議案第4号、監査委員の選任につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

本案につきましては、平成30年5月29日をもって任期満了となります。監査委員の黒田克司さんの後任として、新たに奈良正弘さんを選任いたしたいので、議会のご同意をお願いするものでございます。

なお、奈良正弘さんにつきましては、お手元に略歴書を配付させていただいておりますので、よろしくご審議の上、ご同意いただきますよう、お願い申し上げます。

○議長（鈴木宗貴君） お諮りいたします。本件は提案理由も明らかですので、質疑・討論を省略して、直ちに採決したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） ご異議なしと認め、これより採決いたします。

議案第4号、監査委員の選任について、原案のとおり同意することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（鈴木宗貴君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案に同意することに決しました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。それでは、これで会議を閉じます。

これにて平成30年第2回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。本日はお疲れさまでした。ありがとうございます。

午前10時36分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためここに署名する。

平成30年5月21日

ふじみ衛生組合議会議長

鈴木宗貴

ふじみ衛生組合議員1番

丸田絵美

ふじみ衛生組合議員8番

鳴崎英治